

## 第 60 回 SSN 勉強会

### 親子で楽しめる観察フィールドと子どもの応急手当の方法 II

渡辺幸子（四街道市）

日 時：2013 年 7 月 11 日（木）9 時 30 分～15 時

場 所：四街道総合公園（午前）、四街道総合公園体育館研修室（午後）

講 師：午前 「親子で楽しめる観察フィールド：四街道総合公園観察会」

遠藤登志子 晝間初枝 松川 裕

午後 「子どもの応急手当の方法」

日本赤十字社千葉県支部 指導員 増川君子氏・佐野智佳子氏

参加者：指導員 15 名 非会員 15 名

井戸田、内島、遠藤(登)、小沢、栗山、小西(博)、佐口、莊子、高井、  
晝間、松川、真鍋、八木(千)、山田、渡辺(幸)

連日の猛暑で動植物等の観察が心配されましたが、チョウ、トンボなどの昆虫やクモなどの姿をたくさん見ることができました。四街道総合公園は 20ha の敷地に起伏の富んだ森林と池、水辺には木道が設置してあり、植生が豊かで自然がいっぱいです。公園内は安全なので、親子で楽しむには最適な場所です。

2 時間の観察中に、緑の体が美しいサツマノミダマシ、毛がフサフサのアミガサハゴロモかベッコウハゴロモの幼虫、クワの葉裏にまるで宇宙人のようなオオトリノフンダマシ。ナツアカネやノシメトンボ、シオカラトンボは捕まえて、じっくり観察、今日一番の勉強になりました。木道脇では、チダケサシのピンクの花、ウマノミツバの小さな白花、ウワミズザクラの黄色い実が目飛び込んで来ました。

今日のハイライトはオオムラサキ、ヤマモモの木で羽を休ませていました。暫し立ち止まってみんなで注目！満開のトウネズミモチには、ミスジチョウやミドリヒョウモン、メスグロヒョウモンなど数種のチョウが仲良く舞い、アブやハチの仲間をはじめ、たくさんの虫たちが花を求めて集まっていました。生きもの中心の観察会、思った以上に昆虫を観察でき、充実した午前中でした。



午後は、「子どもの応急手当の方法」として、観察中での虫さされ、すり傷、骨折の対処法などを学び、安全に観察会を実施するために役立つことを教えて頂きました。特に、緊急時に備えて、持ち合わせていたほうがよいもの、いざというときの判断や対応など基本的なことを知ることができました。人形を使っの AED の実技は、皆、現場さながらの熱心さで取り組みました。AED の設置場所の確認も大事かと思いました。

自然観察の前にまず安全確保を心掛けることを、再認識させられました。